

国立天文台・天文情報センター・アーカイブ室 中桐正夫

* 古い工業用ファイバースコープ発見

東京天文台時代の古い基線尺倉庫を一人で漁っている。今までずいぶんたくさんのお宝を発見してきたが、今回は昭和55年(1980年)6月9日に運び込まれた工業用ファイバースコープ(写真1)を発見した。今まで見つかったもので用途が分からないものもいくつかあるが、このファイバースコープもその一つである。



写真1 基線尺倉庫で見つかったファイバースコープ

このファイバースコープは倉庫に持ち込んだ日付、置かれた様子から天文時部で使われていたものようである。先日見つけた万能顕微鏡も用途が分からなかった。そして万能顕微鏡も完全な姿をしておらず、部品が足りない。今回のファイバースコープも照明用の電源部分がない。倉庫にしまう際、主要部分を外して流用したことが多い。そして取扱説明書もない場合が殆どである。これでは倉庫にしまうというよりは倉庫に捨てたという方が適当である。何年か経過して取り出しても使いようがない。1980年に倉庫にしまわれたファイバースコープなら、恐らく世の中にファイバースコープが出始めた頃のものであろう。購入時にはずいぶん高価なものだったと思われる。照明部分の電源があれば今でも有効に使えるのではないかと思われる。たぶん何ボルトかの直流電源だろうから、工夫すれば使えるだろう。今回はアーカイブ室の収蔵品として扱うのでこのままにしておこう。

対物部分が写真2である。45度の鏡がついている。



写真2 ファイバースコープの対物部

写真3が本体部に表示された刻印である。「シリアル番号 210004」の210000番台が製品の種類を表していると思われるから、これはこのシリーズのNo.4ということだろう。オリンパス光学製である。

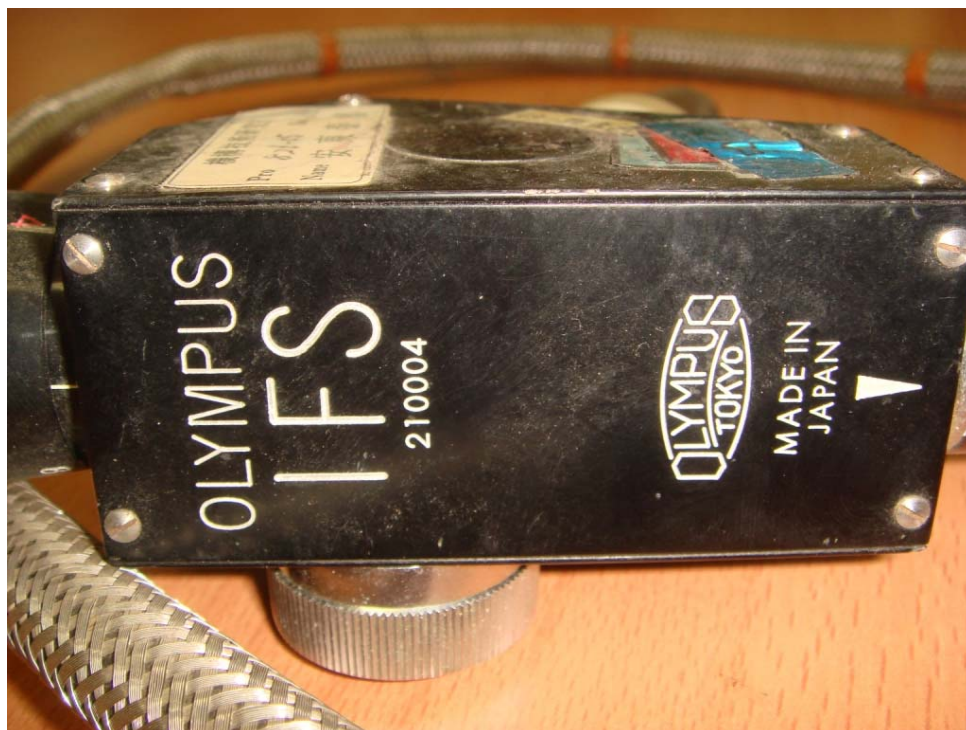


写真3 メーカーの表示などの刻印

写真3の下に見える「つまみ」はフォーカス調整用である。この状態では照明しなければ何も見えない。49-調査済みという添付があるから昭和49年以前のものであろう。